

# 会 議 録

会議の名称	第3回上尾市市民活動推進協議会（協働事業選考会議）	
開催日時	令和7年1月29日（木） 午後1時30分～午後3時	
開催場所	市民活動支援センター会議室	
議長(委員長・会長)氏名	若原幸範会長	
出席者(委員)氏名	若原幸範委員、生越康治委員、尾形昭夫委員、安藤由美委員、石井裕幸委員、畑健二委員	
欠席者(委員)氏名	丸山広子委員	
事務局(庶務担当)	藤波伴安市民生活部次長、森田健司市民協働推進課長、山崎聡市民活動支援センター所長、菅谷良樹、大貫明美、小幡高史	
議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	① 市民活動団体向けアンケート調査の分析について ② 第4次上尾市市民活動推進計画の進捗管理について ③ その他	①報告・審議（継続検討課題あり） ②報告・審議 ③その他 次回日程の確認（3月19日）
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者 なし
会 議 資 料	①第3回上尾市市民活動推進協議会 次第 ②市民活動に関するアンケート調査について（登録団体対象） ③第4次活動推進計画 進捗状況管理シート（施策別） ④基本目標の取り組み成果指標一覧表（令和6年度）	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。  2026年3月17日  <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">                     議長（会長）の署名                       議長に代わる者の署名                      （議長が欠けたときのみ）                 </div> <div style="text-align: center;"> <hr style="width: 200px; border: 0.5px solid black;"/>                     若原幸範（原本自署）   <hr style="width: 200px; border: 0.5px solid black;"/> </div> </div>		

## 議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	資料修正や市長選挙に伴う議会日程の影響で 12 月の開催を延期してしまい申し訳ございませんでした。
会長	私が事務局に難しい注文を出したことも遅延の一因です。本日は、アンケート分析と計画の進捗管理という膨大な資料がありますが、忌憚のないご意見をお願いします。なお、本日の傍聴希望者はありません。
	議題 1：市民活動団体向けアンケート調査の分析について
事務局	今回はセンターの 6 事業についてアンケートを行いました。登録 261 団体のうち活動中の 145 団体へ郵送し、109 団体 (75.2%) から回答をいただきました。協働事業や広報の認知度は 7 割と高いですが、スマホ教室や相談会はまだ低いです。自由意見では、協働事業の「2 回制限」の撤廃や高齢化・後継者不足への切実な悩みが多く、若い世代の取り込み方への関心が非常に高い結果となりました。
A 委員	登録団体数 (261 団体) の推移を教えてください。
事務局	毎年新規登録はありますが、同時に後継者不足で解散する団体もあり、数としては「均衡を保っている (横ばい)」という状況です。
会長	昨年度も 261 団体でしたから、トータルでは横ばいです。分析には、年齢や分野などの基礎情報も重要なので、継続的にクロス集計していきましょう。
B 委員	グラフを見て驚いたのは、センターに求めるものが「特になし」という回答が 36.7%もあることです。これは、センターへの関心が低い、あるいは必要性をあまり認められていないという深刻なことではないでしょうか？
事務局	認知度がまだ不十分だという結果は重く受け止めています。案内は常に出していますが、より工夫が必要です。
会長	協働事業の「2 回制限」も大きな課題です。本来、この制度は「自立」を促し、良い事業は各部署が予算化して継続することを期待して作られました。しかし実態は、3 年目以降に担当課が予算化するのは難しく、事業が止まってしまう。これでは制度の本旨と異なります。見直しを検討すべきです。
事務局	この補助金はもともと、立ち上げ期の「お試し」として 2 回ほど支援し、3 回目からは軌道に乗ってもらうことを意図していました。しかし、所管課が 3 年目から事業を 100% 予算化して引き継ぐのは、現実的にかなりハー

	<p>ドルが高いのが実情です。</p> <p>また、特定の団体が同じ事業で補助金を受け取り続ける「固定化」を防ぐために作った規定でもありますが、ご指摘通り、3年目以降にうまく繋がらないというシステム上の難しさに直面し、苦慮しています。</p>
会長	<p>議論が前に進まない実態があるのなら、この規定自体の見直しを今後の検討課題として進めてください。</p>
A委員	<p>制度面も大切ですが、物理的な利便性という面で、高齢者にとって駐車場の不備は死活問題です。駅前は便利ですが、みんな車で来ます。難しいのは承知の上だが、丸広百貨店の駐車場と提携して、判子を押しせば無料になるような仕組みを検討できませんか？</p>
会長	<p>駐車場も含め、高齢化が進む地域活動において足の確保は切実です。特にアンケート結果にもあった「後継者の育て方」や「若い世代の取り込み」は、自治会などでも共通する深刻な課題です。</p>
C委員	<p>その点に関連してですが、学生との交流会に参加しましたが、既存団体の皆さんの自慢話が目立ち、若者が入りにくいと感じました。無理に今の団体へ誘うより、新しい団体の立ち上げ支援に力を入れる方が時代に合っています。</p>
会長	<p>同感です。アンケートで立ち上げ支援の要望が低かったのは、既に活動中の団体を対象にしたからに過ぎません。その結果に関わらず、新規立ち上げは非常に重要なテーマです。</p>
C委員	<p>昔は公民館の継続的な講座がきっかけで、新しい団体が次々と生まれていました。趣味だけでなく、社会活動をテーマにした講座をもっと活用すべきです。</p>
会長	<p>それは社会教育の大きな課題です。最近はその動きが少ないと感じるため、私自身が務めている社会教育委員の立場からも、公民館の活用について意見を伝えていきたいと思います。</p>
	<p>議題2：第4次上尾市市民活動推進計画の進捗管理について</p>
事務局	<p>17の成果指標を報告します。SNS更新（85%）や新規登録（14団体で目標達成）は順調です。一方で、LINE運用は市の全体方針で配信が減り、大学・事業者との協働件数も目標を下回っています。</p>
B委員	<p>「進捗率」という言葉の使い方が気になります。1年で達成できるものは「進捗」ではなく「達成率」と呼ぶべきです。</p>
事務局	<p>令和10年度の最終目標に向けた5カ年計画の中で、「現在どの地点にいるか」を図る上では進捗率という言葉が分かりやすいと考え使用しました。</p>

	内部でも検討を重ね、当初は「達成率」という言葉も案に上がりましたが、最終ゴール（令和10年度）以前に「評価」と呼ぶのは適切ではないと判断した経緯があります。また、単年度ごとに数値が100%になったり0%になったりする項目もあり、積み上げ方式の進捗率として表しづらい難しさがあります。
会長	指摘も踏まえた上で、よりふさわしい表現について引き続き検討していくよう事務局にお願いします。
B委員	それから行政提案型の事業について、目標件数は達成していますが、実際の協働に繋がらなかった理由をどう分析していますか？
事務局	行政提案への相談はありましたが、団体の目的と合わない場合などでお断りしたケースもありました。
B委員	行政側の提案が「自分たちの仕事を手伝ってほしい」という、単なるボランティア募集のような姿勢になっていませんか？それでは市民の皆さんは手伝いたいと思いません。行政側と、市民活動団体が『やりたい』と思うところが、うまく合っていない印象を受けます。
会長	同感です。職員研修でも「市民の主体性や創造性を活かせる提案を」と伝えました。具体的な協働のパートナーを念頭に置いた提案を練る必要があります。
C委員	ボランティア数の算出方法にも違和感があります。行政が主催したイベントの数字だけを見て「少ない」と言われても、私たちは地域で日々泥臭く活動しています。行政の物差しだけで活動を測って「進捗率が低い」とされるのは、一市民として非常に心外です。
B委員	新規登録が14あっても全体が横ばいなら、14団体が辞めているということです。登録数だけを追うのではなく、「実際に活動が活性化している団体数」を指標にすべきではありませんか？
事務局	毎年10団体ほどが活動を停止しており、数年連絡がつかない団体は事務局で登録を抹消する手続きを行っています。
B委員	整理はされているのですね。もう一点、261団体の中には純粋な「趣味のサークル」も含まれているのですか？
事務局	当センターの登録団体は社会貢献が目的の団体のみです。登録時に「老人ホームでの指導」など具体的な社会貢献内容を記載してもらうため、趣味だけの団体はほぼいません。
会長	市民活動は数字だけの評価が難しいため、今回導入した「進捗管理シート」の記述欄で、数字の背景や理由を分析し、次へ繋げていきましょう。

	議題 3：その他
事務局	今後の予定ですが、令和 7 年度の協働事業報告会および第 4 回協議会は、3 月 19 日（木）午後 1 時 15 分から上尾公民館で開催されます。
事務局	皆様からの厳しい、しかし貴重なご指摘を真摯に受け止め、センターのあり方を含め、しっかりと方向性を示し、一丸となって取り組んでまいります。
副会長	活発な議論をありがとうございました。市民活動の推進に活かされることを期待し、閉会のあいさつとします。